

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

演題 これは困った。。インプラント症例

～長期展望を見据えたインプラント上部構造の技工操作について

演者 鷺澤 忍 氏 (SHINOBU UZAWA)

Reality Dental Laboratory 代表取締役

日時 令和2年11月25日(水曜日)17時～19時

場所 Zoomによるオンライン講義

講演要旨

ブローネマルクコンセプトに基づいたインプラント上部構造の作製について、歯科技工士としての立場から紹介する。これまでに依頼されて‘困った’症例を交えながら、長期展望を見据えた技工の基本的事項や各ステップにおいて歯科医師が留意すべき点を作製の流れに基づいて講義する。インプラントを用いた顎顔面補綴症例についても紹介する。

|

経歴

Owner/Director: Reality Dental Laboratory, Tokyo, Japan 2006-

Owner/Director: Reality Dental Laboratory, Perth, Australia 2003-2005

Dental Technician: Branemark Osseointegration Center Tokyo, Japan 1997-2003

Senior Dental Technician: The Branemark center Australia, Perth Australia 1993-1999

担当分野 顎顔面補綴学分野

担当者 服部 麻里子 [内線 5556]

sasamfp@tmd.ac.jp

参加ご希望の方には ZOOM の詳細を送付いたしますので上記アドレスにご連絡ください。